

# グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年12月8日～2014年12月14日】

[当地報道をもとに作成]

平成26年12月25日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### ▼第30回ジュネーブ国際会議(10日)

・目立った進展は得られなかった。武力不行使の共同声明をめぐる議論について、共同議長は、参加者は作業を継続したが、立場の違いは解消されなかったと述べた。

・安全保障状況に関連し、ロシアとアブハジアが先月ソチにて署名した「同盟と戦略的パートナーシップ」に関する協定についても議論された。グルジア側は、協定がアブハジアの併合に向けた措置であるとの立場を強調。ロシア側は、協定は「併合」とは全く関係がなく、そのような見方はグルジアおよび西側のプロパガンダであると主張した。

・会議後、ロシア外務省は、「南コーカサス地域の安全保障問題は、グルジアのNATO加盟の追求、NATOがグルジアに提示したより高度な協力のパッケージ、NATOの軍事施設をグルジア国内に設置する計画、および、西側によるグルジアへの新たな武器の提供に関する交渉の再開を考慮すると、特に注意を要する」との声明を発表。

・次回は2015年3月17日、18日に行なわれる予定。

#### 【アブハジア】

#### ▼ハジンバ「大統領」の発言(12日)

・アブハジア側の報道によれば、ハジンバ「大統領」が、エングリ発電所について、アブハジア内に位置している以上、アブハジアの人々のものでなければならぬと発言。エングリ発電所はこれまでグルジア政府が管理しており、取り決めにより、生産される電力の40%がアブハジア側に供給されている。

#### 【南オセチア】

#### ▼ティビロフ「大統領」の発言(10日)

・10日、ティビロフ「南オセチア共和国大統領」は、「私は、計画されている(ロシアと南オセチア共和国との)条約は、ロシアへの南オセチアの直接の編入をはじめとして、世界に存在する国家間の政治的な共存関係のその他の形態を含め、広い範囲で検討されねばならないと提案した」と発言。

・11日、記者会見で南オセチアとの条約について尋ねられたルカシェヴィチ露外務省報道官は、アブハジアとの間で結ばれた条約と同様に、南オセチアとの間の新しい合意はいかなる他国に対抗することを意図したものでないと回答した。

### 2. 外 政

#### ▼シュタインマイヤー独外相がグルジアを訪問(8日-9日)

・「シュ」外相はマルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、ベルチャシヴィリ外相らと会談。ウクライナ情勢、露・グルジア関係、EU・グルジアの連合協定の実施および査証自由化などについて議論した。

・「ベ」外相との会談後の共同記者会見で、「シュ」外相は、独・グルジア関係の良好さを強調。また、グルジアの欧州統合に対するドイツの支持を確認するとともに、グルジアのNATO加盟に関してドイツが「保守的である」という見方を否定し、「条件を満たした暁にはグルジアはNATOに加盟する」との2008年のNATO首脳会議の決議をドイツが強く支持しており、NATOがグルジアに提示した「実質的なパッケージ」はドイツのイニシアチブによって実現したと述べた。

#### ▼ベルチャシヴィリ外相がエルドアン・トルコ大統領と会談(10日)

・グルジア・トルコの戦略的なパートナー関係について議論し、ハイレベルの戦略的パートナーシップ協議会の設置を歓迎。協議会の第1回会合は両国の首相の主催で2015年前半に開かれる予定。地域的な共同エネルギー・経済プロジェクトが両国関係のみならず地域全体の発展にとって重要であると強調された。

・「エ」トルコ大統領はグルジアの主権・領土一体性およびEU・NATO加盟に対する支持を再確認した。

#### ▼第4回グルジア、アゼルバイジャン、トルコ3カ国外相会談(10日)

・トルコのカルスでグルジア、アゼルバイジャン、トルコの4度目となる3カ国外相会談が開催された。

・3名の外相はさまざまな分野での3カ国の協力について議論し、バクー=トビリシ=カルス鉄道プロジェクトをはじめとする協力の発展およびエネルギー分野のプロジェクトの進展を歓迎。地域情勢についても意見を交換。相互の主権と領土一体性に対する固い支持を再確認し、共同声明に署名した。

・次回の3カ国外相会談は2015年にグルジアで行なわれる予定。

#### ▼アブラハマン・アルメニア首相がグルジアを訪問(11日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相と会談。会談後、「ガ」首相は、「アルメニアが1月からユーラシア連合のメンバーとなる一方で、グルジアはEUとの連合協定に署名したが、このことが我々の二国間関

係に影響を与えることはない。むしろ、我々はそれを両国の利益のために活用する」と述べた。「ア」アルメニア首相は、両国間の国境通過点の刷新、および、両国間の輸送・通信インフラの発展について議論したとして、ロシア・グルジア間のカズベギ＝ゼモ・ラルス国境通過点の円滑な運営の重要性を指摘した。また、アルメニアの送電網をグルジアの送電網に連結させる新たな高電圧線の設置計画にも言及。

#### ▼マルグヴェラシヴィリ大統領がトルクメニスタンを訪問(14日―15日)

・ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領と会談。通商・輸送・観光などに関する協力を進める共同声明に署名した。「ベ」トルクメニスタン大統領は、グルジアは国際的なレベルでの重要なパートナーであると強調。クヴィリカシヴィリ経済・持続的発展大臣、ジャラガニア外務次官らが同行。

### 3. 内 政

#### ▼内務省からの保安局の分離(10日)

・ガリバシヴィリ首相は、閣議で内務省の改革について協議したとして、内務省から保安部門を分離する改革案をまとめるため、政府、国会、NGOの代表者らから構成される委員会を設置するよう指示したと発言。

#### ▼国会が中央アフリカ共和国への軍の派遣の延長を承認(11日)

・国会は賛成85名、反対1名で、中央アフリカ共和国でのEUミッションへのグルジア軍部隊の参加を2015年4月まで延長する大統領の要請を承認。ミッションはもとも2014年末に完了する予定であった。2014年6月以降約140名のグルジア軍兵士がミッションに参加しており、2015年1月以降は兵士の数が約半数に減らされる。

#### ▼国会が中央選挙委員候補を審査(11日)

・市民代表者から成る委員会の選んだ候補者18名からマルグヴェラシヴィリ大統領が指名した中央選挙委員候補者2名について、国会で投票が行なわれたが、それぞれ38名、32名の支持しか得られず、どちらも落選した(最低76名の支持が必要)。大統領は再び同じ候補者を指名することができる。

### 4. 経 済

#### ▼2014年第3四半期の外国直接投資(9日)

・国家統計局が発表。2014年第3四半期の外国直接投資の総額(速報値)は508百万ドル。前年同期比99%増。国別の内訳は多い順に中国149百万ドル、アゼルバイジャン95百万ドル、オランダ90百万ドル、パナマ44百万ドル、マルタ34百万ドル、英国27S百万ドル、米国26百万ドル、トルコ20百万ドル、ロシア16百万ドル。

#### ▼EUによる経済支援(12日)

・欧州委員会はグルジアに対する4600万ユーロの支援を決定したと発表。モスコヴィチ欧州委員は、「EUはグルジアの経済改革を支持しており、グルジアのマクロ経済の安定と改革の推進およびEUとの統合を進める努力を支援する」とコメント。

#### ▼アジア開発銀行による融資(12日)

・アジア開発銀行(ADB)は、ズグディディの上水道およびポティの下水道のシステムの改善のため、1億800万ドルの融資を決定。2020年までにグルジアの全ての都市の水道・衛生環境を安全にすることを目的とする16億ドル規模のプログラム(USIIP)の一環。

#### ▼タバコ・アルコール飲料税の増額(12日)

・国会は2015年1月からタバコ税を1本当たりフィルター付き0.9ラリ(0.15ラリ増)、フィルター無し0.25ラリ(0.05ラリ増)とする法案を承認。2013年9月以来の値上げ。2015年7月から5%のタバコ小売売上税も導入する。また、アルコール飲料税としてビール1リットル当たり0.6ラリ(0.2ラリ増)、その他のアルコール飲料については従来の倍額と決定。

#### ▼国会が2015年予算を承認(12日)

・国会は賛成82票で2015年予算案を承認。歳入8090百万ラリ(2014年予算7319百万ラリ)、歳出8000百万ラリ(同7539百万ラリ)。野党の統一国民運動、自由民主主義者党は、政府債務の増加などを理由に反対した。

・個人収入からの納税、付加価値税、物品税の増加を見込み、税収として2014年の目標額より780百万ラリ多い7600百万ラリを予定。政府は、2014年と同じく、2015年にも5%のGDP成長を予測している。

・各省ごとの配分は、労働・保健・社会保障省2785百万ラリ(前年より127百万ラリ増)、地方発展・インフラ省1000百万ラリ(同125百万ラリ増)、国防省640百万ラリ(同25百万ラリ増)、内務省638.7百万ラリ(同38.7百万ラリ増)、農業省292.9百万ラリ(同29.4百万ラリ増)、経済・持続的発展省120百万ラリ(同11百万ラリ減)、エネルギー省125百万ラリ(同10.4百万ラリ増)、環境保護・天然資源省39百万ラリ(同8百万ラリ増)、被占領地域出身国内避難民・住宅・難民省70百万ラリ(同22百万ラリ増)など。

・地方自治体への交付は2014年の58.1百万ラリから854百万ラリに大幅に増額される。

・普通裁判所への配分は、裁判官の給与の引き上げを受けて、今年の47.4百万ラリから倍増。

・2014年と同様、グルジア正教会は国庫から25百万ラリを受け取る。